

平成31年 2月17日

上ノ国町議会議長  
石澤一明様

氏名 市山昭義



平成30年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項（第2項）  
に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

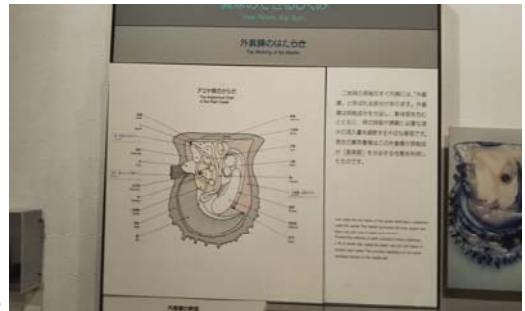
1 政務活動名

- 1 アコヤの核移植、養殖、加工施設視察調査
- 2 三重県栽培漁業センターの種苗生産施設視察調査
- 3 太陽光利用型植物工場の果菜周年栽培研究施設視察調査

2 政務活動内容

平成31年1月28日(月)午後3時30分から、三重県鳥羽市御木本真珠島でのアコヤガイなど真珠生産の為の核移植や養殖、採取、加工技術についてスライドや技術者から説明を受けた。

真珠生産について研修、視察調査をした。



真珠の出来る仕組みアコヤ貝の体



核移植作業

「ピース」の細胞は核を包み込む「真珠袋」を形成し、真珠質の分泌を始める。



←真珠の核を造る  
良質の貝

真珠貝の採取する→  
海女さん



注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。  
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)  
2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

- ① 1月29日午前、三重県志摩市の三重県栽培漁業センターで魚介の種苗生産技術や生産施設、放流実績について研修、視察調査。

### 三重県栽培漁業センター 所長代理 上谷和功より説明

三重県栽培漁業センターは昭和53年度から昭和55年度の3カ年で基本施設を設置し、昭和56年度からアワビ、車エビ、アコヤガイの種苗生産を行っている。また、昭和59年度から昭和61年度の3カ年で施設の増強を行い、昭和62年度から、ヒラメ、マダイ、トラフグの種苗生産をした。同センターと尾鷲栽培漁業センターでは、種苗生産技術が確立された。三重県栽培漁業の中で重要な位置を占める。

現在は、マダイ、トラフグ、ヒラメ、カサゴ、車エビ、ヨシエビ、アワビ、ナマコ、マハラ、アコヤガイ、ガザミなどの種苗を生産している。



#### 施設概要

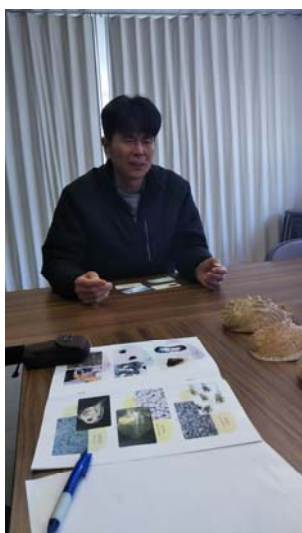
管理培養棟鉄筋コンクリート造り延べ481.5㎡

マダイ親魚槽30㎡×2

ナンノクロボシス培養槽80㎡×5

#### その他付帯施設

海水導入管、海水取水ピット、海水濾過装置、受電、変電自家発電装置等



説明員の上谷所長代理

上 アコヤガイの産卵用親貝稚貝

下 アワビの稚貝とペリジャー幼生(下右)

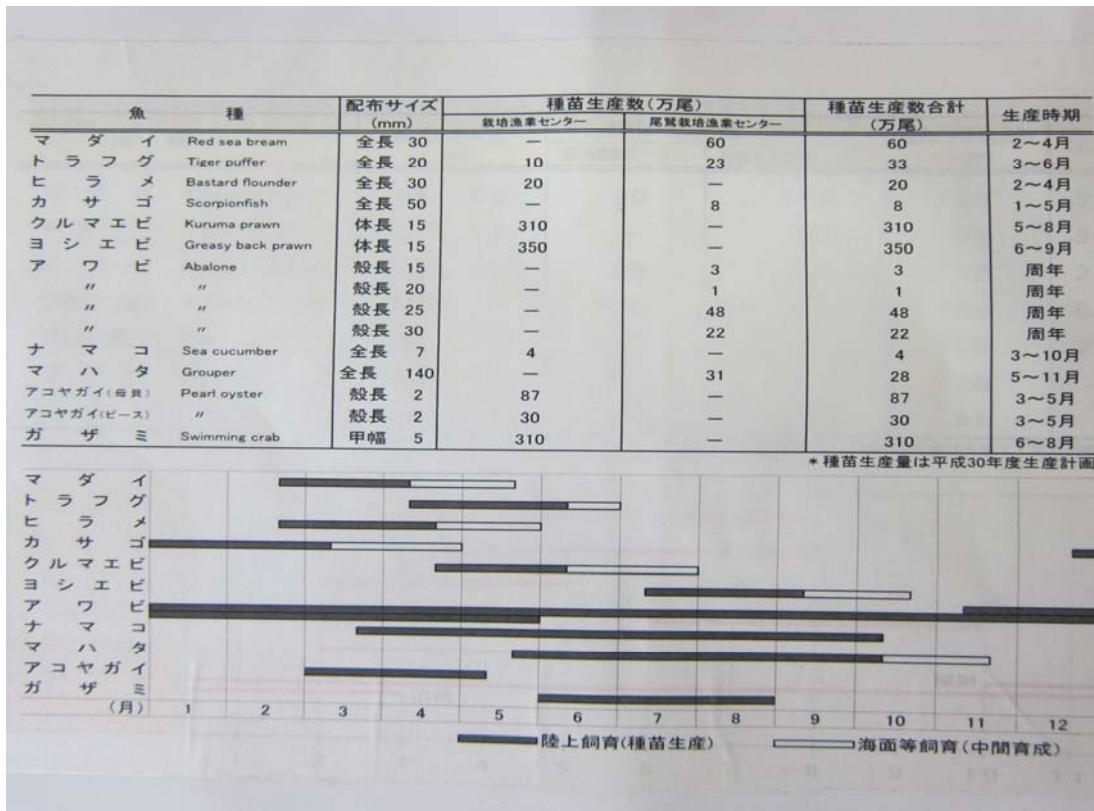


注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

年間、種苗生産数量と生産時期



② 1月29日午後、三重県松坂市の三重県農業研究所で太陽光利用型植物工場のイチゴ、トマトの周年栽培について研修、視察調査をした。

**研究所の概要** 主任研究員 西村 浩志による説明

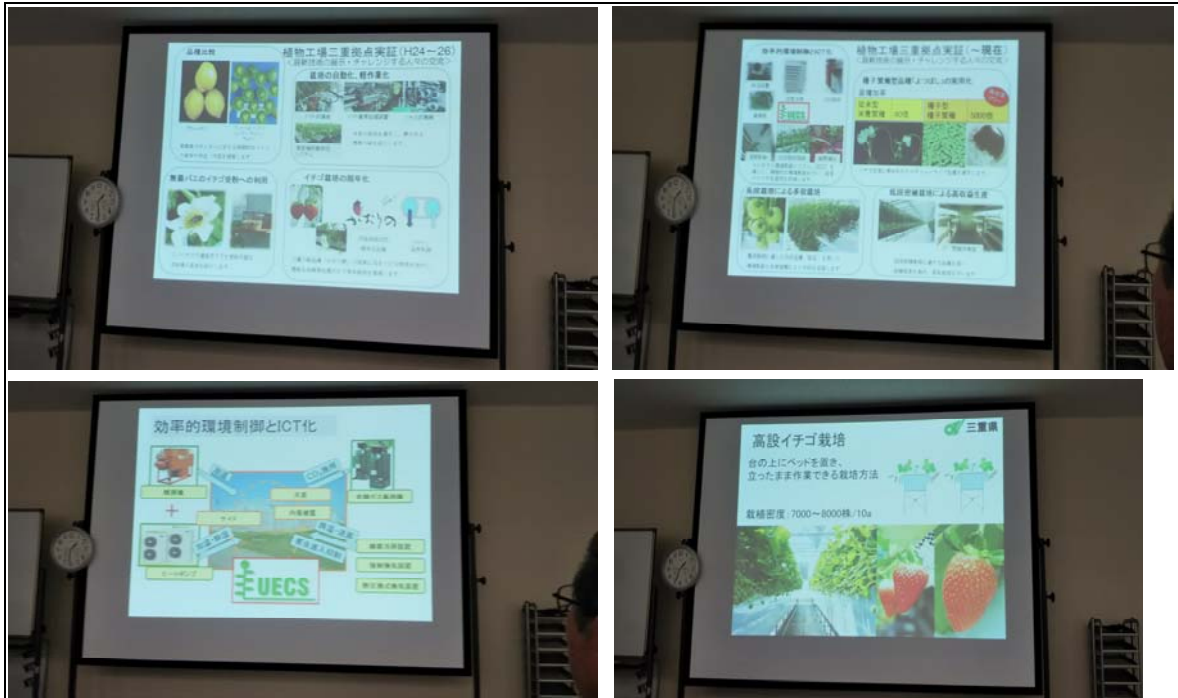
研究所は、県内における農業技術の中核機関として、農業の低コスト化技術、バイオテクノロジー等先端技術、消費者ニーズに即した農産物の高品質化や安全な食料生産技術、環境への負荷の少ない農業生産技術など、時代の要請に応じた試験研究を行っています。また、開発された新技術等を積極的に実用普及に努めると共に、技術指導者や海外研修生等の交流も行っています。

植物工場には、

- ① 閉鎖環境で太陽光を用いずに栽培する「完全人工光」
  - ② 温室等において、太陽光の利用を基本として人工光による補光や夏期の高温抑制技術等を用いて栽培する「太陽光利用型」があります。
- 太陽光利用型における、イチゴ、トマトについて研修を深めました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。  
(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。



新種 よつぼし イチゴの実験

種から育てるから病害虫少なく  
増殖率抜群、5月に播種して9  
月に定植。11月から収穫できる  
促成栽培用 品種 よつぼし



低段密植による高収益栽培



低段密植栽培に適した品種用い  
栽培密度を高め、周年栽培を行う

- 注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。  
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)  
2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を  
記載する。

### 3 政務活動成果

#### ① アコヤガイの核移植、養殖、加工施設について

1890年、神明浦と現在のミキモト真珠島の2箇所の実験を開始し、1893年に実験中のアコヤ貝に半円真珠が付着している貝を発見しました。

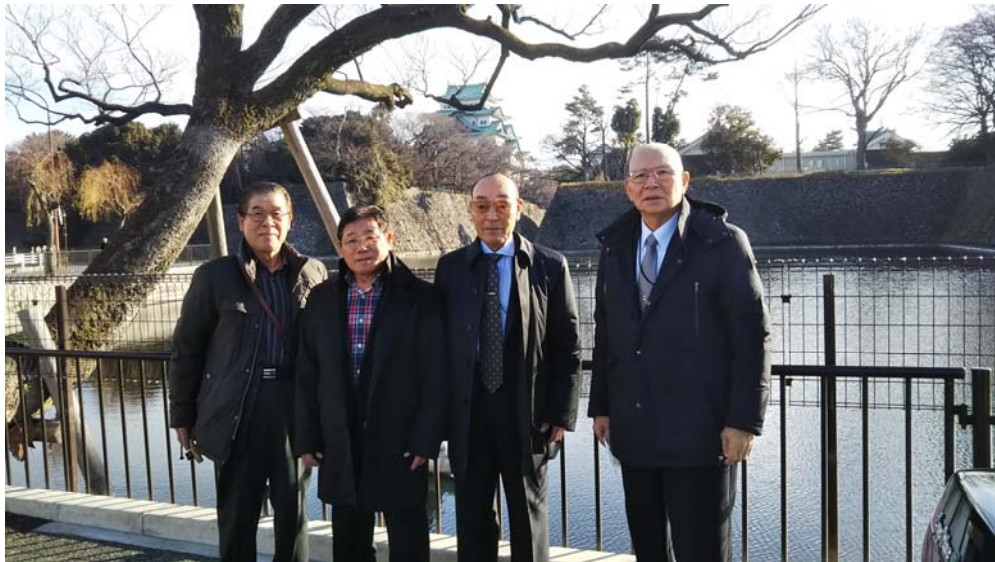
現在では、伊勢、志摩をはじめ九州や沖縄など各地で養殖されています。核の移植技術は外套膜に接して挿入し、この核に真珠質を被着せしめる技術が普及し、真珠が一般的な方々の購入を促進させました。故御木元孝吉氏の偉大な功績をたたえます。

#### ② 三重県志摩市栽培漁業センターについて

敷地面積 12,900 m<sup>2</sup> 建設費 33億96,000千円 事業を有効に利用し県内における養殖事業、放流事業の拠点として、県民の理解を得て事業の推進を図っています。私どもの海洋牧場を有効活用すること、栽培漁業センターの活性化を強く求めます。

#### ③ 農業研究所について

太陽光利用型植物工場について、我が町では一昨年トマト用、ビニールハウス型植物工場36棟が立ち、現在多数の雇用者を受け入れ、順調に事業成果を達成しています。30年度事業での本格的植物工場の建設が始まり、その事業の成功を議会、町も積極的に参画し町の活性化の原動力にと願っております。



無事に政務活動調査を終了して、4名で撮影

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。